

集団育成事業と取り組む

工組とデザイン協会の総会開く

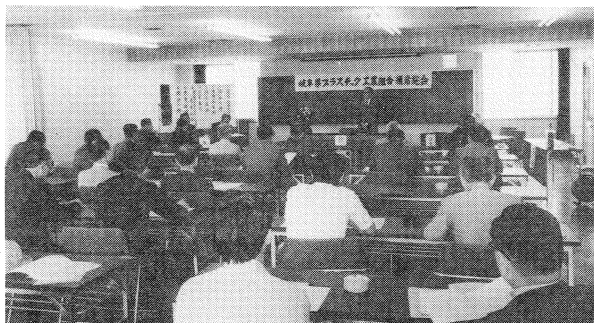
大松理事長が協力を呼びかける

岐阜県プラスチック工業組合は、5月27日、岐阜県工業技術センター講堂で『第15回通常総会』と『県プラスチックデザイン協会第21回通常総会』を開催した。議題は①57年度事業報告と収支決算②58年度事業計画と収支予算案③中小企業集団育成事業の実施について④任期満了による役員の変更について一など。とくに席上、役員の変更では、大松幸栄理事長を再選したほか若干の役員異動があった。

議案を原案どおり承認

当工業組合の通常総会は大野繁俊副理事長の開会の辞で始まり、最初は大松幸栄理事長があいさつに立ち、業界が当面する問題点について話をした。この中で大松理事長は、

『いままでの企業経営は人、物、金が揃えばできた。最近はそのに経済や技術に対する環境が大きな経営の条件に加わってきた。とくに近年の経済や技術の環境変化は、常に新しい問題を提起して、過去にあった事例ではなく、全く新しい展開となって企業経営におおいかぶさってきている。こうした環境の変化の中で企業が生き抜くには、工組の組織活動が重要なキメ手となってくる』と、協力を呼びかけた。



上は総会・下はセンターで開いたミニ展示会場

このあと議案審議に入り①57年度事業報告と収支決算②10項目の事業計画と総額3,507万円にのぼる収支予算③中小企業集団育成事業の実施一などを原案どおり承認した。事業計画は①講習会、見学会など指導教育事業②会報の

発刊など情報提供事業③希望商品の共同購買事業④制度融資や設備機器などリースあっせんなどの金融事業⑤自動車ローン事業⑥事務代行事業⑦調査研究事業⑧福利厚生事業⑨青年部への助成⑩中小企業集団育成事業の実施一など。

とくに中小企業集団育成事業は国、県の補助金を受けて3年間にわたり、労務改善事業を実施する。これで56年度の『活路開拓調査指導事業』57年度の『地場産業振興特別対策事業』の指定を受けて実施した'82プラスチックフェア岐阜に続いて、今年度で3年連続して大型組合事業と取り組むことになる。(5頁と8頁に労務改善事業の詳細を説明)

工業組合の新役員が決まる

さらに役員の変更は、選考委員による推薦の方法で行い、大松理事長はじめ13人の役員を選んだ。工組の新体制は次のとおりである。

〈理事長〉

大松幸栄(岐阜プラスチック工業)

〈副理事長〉

大野繁俊(東海ポリエチ工業所)

武藤昭三(武藤合成)

児玉庄一(コダマ樹脂工業)

〈理事〉

田中弘一(田中化学工業所)

納土栄一郎(東和化成)

奥村 勝(天竜工業)

日比正隆(大垣プラスチック工業)

吉田博司(美濃化学工業)

米谷元則(名古屋三光合成岐阜工場)

加藤法康(日本工芸)

〈監事〉

林 光夫(関化成工業)

篠田 哲(岐阜技研ポリマー)

センターでミニ展示会開く

工業組合の総会に続いて県プラスチックデザイン協会の総会が行われ①57年度事業報告、収支決算②58年度事業計画、収支予算などを審議、原案どおり承認した。

なお、二つの総会を記念して工業技術センターでミニ展示会を開いた。商品は組合があっせんする25機種で、まずまずの成果であった。

大松理事長が副会長に 岐阜県職業能力開発協会の総会で

大松幸栄工組理事長は、さる5月24日開かれた岐阜県職業能力開発協会の58年度通常総会の席上、副会長に選ばれた。同協会は、技能検定を実施する県内各種団体で構成する能力開発の推進機関で、大松理事長は当工組と県生産性本部の活躍ぶりが買われ副会長に選ばれたもの。

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

新商品開発や設備の近代化

圧縮・射出成形の構造改善事業 改善計画の検討進む

プラスチックの圧縮成形と射出成形加工業は56年10月9日、再度（第1回は昭和39年）中小企業近代化促進法の業種指定を受け、現在中央で、構造改善事業内容の検討が急がれている。構造改善事業は技術革新が進む中で、原材料供給の変化、成形品の需要減退など厳しい環境にあることから業界全体で合理化事業と取り組もうというもの。当工業組合が構造改善の叫ばれる中で、全国業界に先がけて活路開拓ビジョン実現化事業を推進する意義は大きい。

この構造改善を実施する特定業種は39業種あり、プラスチック関係としてはポリエチレン製フィルム業界が52年度に指定され、設備廃棄を柱とする極めてハードな構造改善事業が進められている。

望まれる共同技術開発センター

プラスチックの圧縮、射出成形の構造改善計画はこれから策定されるところで、いまのところ問題点として①技術開発力、製品開発力の不足②企業の過小過多性③取引条件の悪化④経営基盤の不安定化⑤設備の近代化・合理化の立遅れ⑥安全対策、公害防止対策などが指摘されその対応策が練られている。

したがって構造改善事業の内容策定にあたっては①新商品・新技術の開発②設備の近代化・集約化③取引関係の改善の3点を柱に合理化事業が計画されつつある。とくに今後の中小企業の大きな課題は技術の向上にあるが、企業個々では対応が難しいため、共同技術開発センターあるいは研修センターなどを設置し、その成果を業界全体で利用することが必要とされる。

また、このセンターを核として関係技術のデータベースを設置し、情報、文献、データなどの情報を収集・提供することも合わせて検討されると考えられる。現に、西日本地区にプラスチック技術振興センターが設置され、大きな成果があげられているが、さらに充実して技術向上・開発を中心とした共同化を構造改善事業の第一の柱にすることが計画されている。

したがって関東、中京など他の主要地区においても技術センター等の設置によって、新製品または新技術開発の共同事業について検討する必要があると提案されている。

このほか設備の近代化・合理化と同時に、企業の集約化により不必要な重複投資を避けねばならない。企業の集約化の方法としては、例えば共同事業、協業化、合業合併などを計画的に行う必要があると提案している。

創立30周年の記念式典開く

岐阜プラスチック工業

岐阜プラスチック工業は4月16日、岐阜グランドホテルで創立30周年記念式典を行った。式典は蒔田岐阜市長、平野各務原市長、高橋岐阜商工会議所会頭らの来賓、関係会社の代表、従業員ら約千人が出席して開かれ、記念表彰、体験発表、発明考案者表彰、勤続者表彰などを行った。席上、大松社長は『30周年を機会にさらに団結を固め、21世紀に向かって強じんなバイタリティーを発揮したい』と話した。

なお、式典の後、特別記念講演として森本名鉄取締役・教育センター室長が『これからの企業人』をテーマに講演した。

3年がかりで労務改善事業

中小企業集団育成事業の対象に決定

雇用環境整備や福祉活動の充実

当工業組合は、国と県が実施する『中小企業集団育成事業』の58年度補助対象集団に新しく指定された。このため補助金を得て、今年度から60年度までの3カ年事業として総合的な労務改善事業と取り組むことになった。

事業内容は①雇用環境の整備、福祉活動の充実②労働保険・社会保険等の加入促進③雇用管理の向上④業務防災の防止一などで、工業組合員106社とその従業員2,710人が対象となる。労務改善の具体的なスケジュールは、近く集団指導員の決まるのをまって作成するが、現在のところ①労働講座や労働・社会保険講習会の開催（県内5会場を予定）②ボウリング大会（県内3会場）やレクリエーション活動の実施③労務管理実態調査、視察研修、労務改善指導員研修会の実施④雇用管理講習会、労務改善の定着指導、雇用福祉の充実一などを実施計画している。このほか会報（今号の8頁に）などを通じて労務管理、労働安全衛生、労使関係法、QCサークル活動などの資料も提供していく。

こうしたプラスチック業界の総合的な労務改善をテーマとした中小企業集団育成事業は、国と県からの補助金80万円、工業組合の自己資金88万円、合計168万円を事業費に3カ年がかりで実施することになる。

県下で5集団が指定されて実施

なお、58年度に新しく指定された対象集団は当工業組合と多治見陶磁器卸商業協同組合の2組合。実施中の集団は56年度に指定された平田町企業連絡協議会と多治見美濃焼卸センター協同組合、57年に指定された西濃電気工事協同組合の3集団あり、今年度は合計5集団がそれぞれの労務改善事業と取り組むことになる。

田中副理事長が県表彰される



当工業組合の田中弘一副理事長は、5月3日岐阜県庁で県各界功労者の一人として知事表彰された。田中さんは商工業振興功労の17人の中に選ばれたもので、

受彰の田中さん 当業界はもとより県の技術アドバイザーとして幅広い活動が認められた。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

産業としての地位確立

プラスチックの再生加工

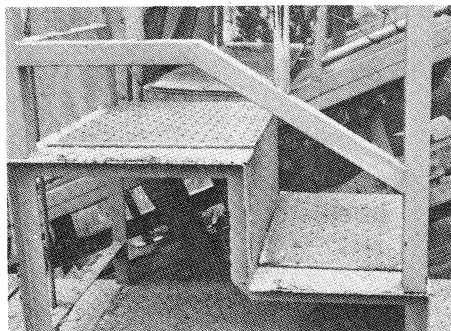
資源の有効利用という課題は、世界的な関心事である。その中で、各種の産業から排出されるプラスチックを原料とする再生加工業は、約10年前から全国各地に誕生し、いまでは100社を上回る規模になっている。

製品の種類も、当初は棒や杭、板など比較的単純なものが多かったが、加工技術の進展にとともに複雑な形状のものや、無機物を充てんした製品など創意工夫に富む多くの再生加工品をつくり出している。

一方、製品の品質についても日本工業規格の標準化が進み「棒（丸、角）板、杭」

は昭和54年3月にJISK6931、また「標識杭」は同56年3月にJISK6932としてそれぞれ制定された。製品の種類も増加、品質も向上し、利用実績や範囲は拡大しつつある。とくに官公庁、公社公団、鉄道、電力、ガス会社、農漁業を中心とする公共事業での需要が一層期待される。

再生加工業者自体も、全国的規模で「日本プラスチック処理再生組合」を結成、業界の体質強化のために活動を行うようになった。プラスチックの再生加工業は、資源の有効利用という社会的意義のもとに努力を重ね、新しい産業としての基盤を確立しようとしている。



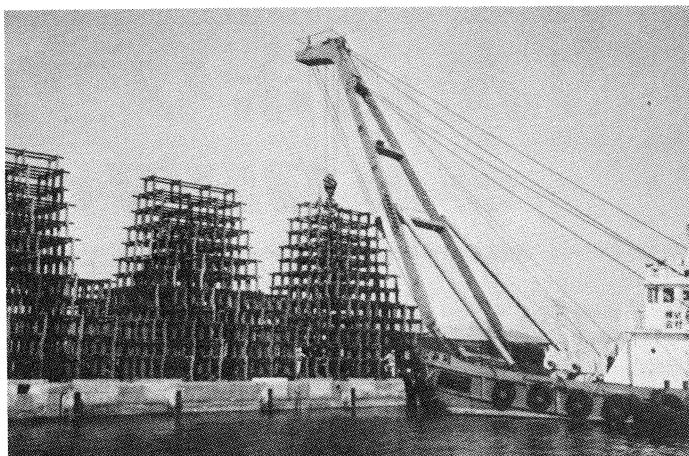
階段の滑り止め用マット



ゴルフ場のカート路に敷かれたマット



プラスチック再生加工品の展示会場



沈設を待つ組み立てられたプラスチックの魚礁

○強磁性もつポリマーを開発○

東京大学物性研究所で、これまでの常識を破る強磁性をもったポリマーを合成した。磁石を持つプラスチックはフェライトなどの強磁性体粉末をポリマー中に混ぜたプラスチック磁石が実用化されているが、ポリマーそのものが強磁性体という開発は世界でこれが初めて。

まだ成形性が悪いなど問題点もあるが、当面は小型のトランスやモーター、さらには電波吸収体などへの応用が考えられる。将来は磁気記録材料としても使える可能性があるという。

○木粉混入塩ビコンパウンド○

住友林業は三井東圧、理研ビニル、凸版印刷各社の協力を得て、木粉混入塩化ビニルコンパウンドおよび同ホットプレス成形加工用ボード（凹凸加工板）を開発、市販開始した。

同コンパウンドは、同社が開発した乾燥状態の木粉（含水率0.8～2%、比重0.12）および細粉末（150メッシュ以上）の量産技術と木材の木酸中和処理技術を応用して開発されたもの。最高50%まで木粉を混入することができ射出成形用グレード、押出成形用グレード、発泡グレードなどが開発されている。

主として建材用部材、建具、家具用部材、自動車部品、家電部品などに同コンパウンドおよび加工板の需要を見込んでいる。

○新エンプラ・ウルテム市販○

エンジニアリングプラスチック社は、米国GE社が開発したポリエーテルイミド「ウルテム」を日本でも販売開始した。

同樹脂は褐色、半透明の2色あり、GE社が10年以上の商品開発とテストを続けてきた超エンプラと汎用エンプラの中間に位置づけられ

る新樹脂である。機械的、電気的特性、耐薬品性に優れているばかりでなく、耐熱性、難燃性および成形性に大きな特長をもっている。

とくに超耐熱プラスチック（熱変形温度200度C）としては珍しく加工性に優れ、射出成形ブロー成形、発泡成形、押出成形のいずれも可能で、幅広い需要が期待される。

○昨年、材料、製品やや増加○

日本プラスチック工業連盟は、57年1～12月のプラスチック材料および加工製品の生産実績をまとめた。

総生産量はプラスチック材料が713万4,560トン（前年比1.4%増）またプラスチック加工製品は390万8,003トン（前年比2.4%増）にとどまった。材料のうち最も増加率が高かったのはポリブテンで前年比19.8%増、次いでポリアミドの前年比15.1%増であった。

加工製品では硬質フィルム（前年比11%増）型物発泡製品（前10.9%増）が比較的大きな伸びを示した。これら加工製品の総販売額は、前年比3.6%増の2兆6,156億6,900万円、品目別販売額では機械部品が前年比8.2%増の6,865億9,700万円と最も多かった。

○成形加工機械は前年を割る○

日本プラスチック機械工業会がまとめたプラスチック加工機械の57年1～12月生産実績は、総数量で1万586台、金額では1,162億4,600万円であった。台数では前年比5.7%減、金額では1.8%減となった。

このうち射出成形機は7,664台（9.8%減）金額で846億5,700万円（2.8%減）で、前年までの8千台の大台を割る減少ぶりであった。対前年比で台数、金額ともに増加したのは押出成形機と同付属装置だけであった。

中小企業集団と労務改善事業

当工業組合は国、県が実施する『中小企業集団育成事業』の指定を受け、58年度から3カ年事業として労務改善事業と取り組む。このため労務改善コーナーを設け、中小企業の労務改善の手引きになるような解説をシリーズで掲載することにした。その第1回は中小企業集団の行う労務改善事業について説明しよう。

事業主が行う事業を側面から援助

中小企業を含め、わが国の企業経営をめぐる社会経済情勢は大きな問題を抱えている。労働面に限ってみても、産業構造の変化に伴う雇用問題、定年制の問題、高齢化社会への移行に伴う勤労者の生活問題、労働時間短縮の問題など解決していかねばならない多くの課題を指摘することができる。

とくに中小企業の労使関係あるいは労働者の福祉に対する問題は、高度経済成長期には大企業との格差を急速に縮小する傾向にあったが、いまなお改善を要する点が少なくない。そこで登場したのが中小企業集団の行う労務改善事業

である。国と県は、中小企業の事業主が自主的に行う労務改善事業を側面から指導・援助する目的で中小企業を集団としてとらえ、それに要する経費を補助することによって労務管理の近代化をより一層促進するための施策である。

雇用安定と福祉対策が最重点

補助金の助成対象となる中小企業集団は、原則として事業協同組合、商工組合などの業種別団体、商工会議所などの地域的団体を基盤として組織される団体。当工業組合は業種別団体ということで集団としてとらえられた。

それでは労務改善事業の具体的な内容をみてみよう。

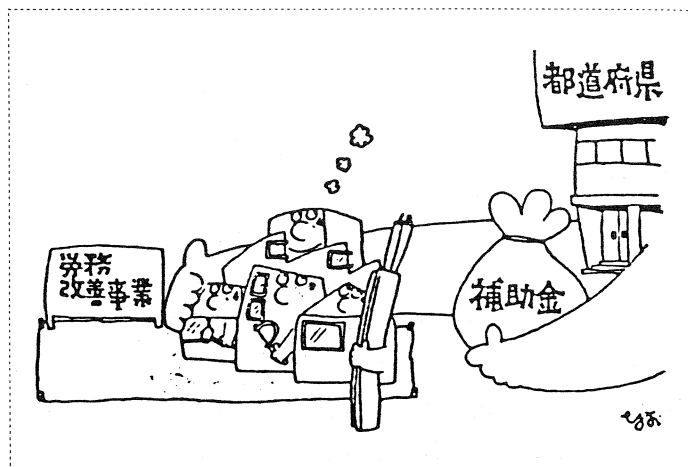
〈雇用対策に関する事項〉 中高年齢者の雇用対策、身体障害者の雇用対策、定年延長の推進、求人秩序の確立、雇用管理、定着指導、新入社員に対する教育訓練、管理・監督者に対する訓練など。

〈労働条件の改善に関する事業〉 ①資金管理、労働時間管理など②週休2日制の導入、中

小企業退職金共済制度への加入促進③業務災害の防止、労働者の安全及び衛生の確保。

〈労使関係の安定に関する事業〉 団体交渉手続、労働協約締結等の指導、労使コミュニケーションの促進、提案制度の実施、労務診断の実施など。

(以下次号へ続く)



デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

クオリティ・オブ・ライフ

これからのデザインは、「生活提案」、「ライフ・スタイル提案」が求められ、又製品開発・企画もその方向にあるといわれている。

そして、消費者を生活者としてとらえ、その生活者の大きな潜在意識のひとつを「クオリティ・オブ・ライフ」としている。

では、その「クオリティ・オブ・ライフ」とはどのような事をいっているのだろうか。

ある人の定義では、「肉体的、感情的、精神的、知的、経済的な全ての面で満足した生活である」としている。

ここで、これまで言われていた「全ての面で豊かな生活」との違いを考えると、豊かさは他人を意識した経済的、物量的なものを中心とし、満足度は人は人といった個人の精神的、心とか感性を中心としたものであるといえる。

製品開発を前提に、このクオリティ・オブ・ライフをもう少し具体的にすると次のような事になる。

① 日々新たなる意識と生活

生活者は毎日新鮮に変化あるものとし

て実感したいと望んでいるため、あきさせない事をサービス、情報といったもので考える。

② コーディネイトと生活

生活とは、もともとトータルな出来ごとであるため、単体的なモノの発想ではなく使われる場においてモノとモノがつながっていくようなコーディネートし易い、トータルな存在価値を考える。

③ 自己主張という個性表現と生活

1人1人が自分というものを中心に生き方や生活を再編し直しているのが今日的生活者であるため、1人1人にスポットをあてた製品開発をする。

④ ベーシックとプロデュース、2つの生活

生活者の投資には、生活の基本的なものと生活を演出(楽しさづくり)的なものがあるため、この2点の理解をしっかりとしておくことが、生活の質へのどのアプローチステップにいるかを明確にする。

⑤ 心の満足と生活

物所有からマインドをベースにした物使用型の価値感へ着目する。

以上のように、クオリティ・オブ・ライフはソフトなモノを意味しているため、モノのアイデアよりも売り方のアイデアが重要とされる。

(岐阜県工業技術センター 工業デザイン)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
 ポリスチレン ポリプロピレン
 高圧ポリエチレン カルプ®
 ポリカーボネート

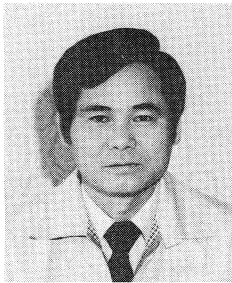


出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
 名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611

外注工場とスクラム組んで進む

有限会社服部樹脂



組合員の工場訪問は
工組青年部の副会長に
選ばれた服部昭元さん
の工場・有限会社服部
樹脂（資本金650万円、
従業員9人）を訪ねた。
工場は岐阜から北進し

服部昭元さん た高富町赤尾の山沿い
にある。面積は約660平方メートル、ここに成
形工場と製品倉庫が建つ。成形機は川口鉄工の
10オンスインジェクション3台が並び、中央
には新設したばかりの20オンスが座る。製品
倉庫には『ハットリのプラスチック』と書かれ
たケースが梱包され、出荷を待っている。

製品はボール、洗いおけ、洗面器、屑入れ、
ざる、ハンガーなど日用雑貨品ばかりで、新旧
合わせて30種類ほど生産している。

青年部は参加の精神で運営

服部さんは今年40歳になったばかりの若さ。
技術というより営業面で力を発揮するタイプで
ある。それだけに活動的で、この長所が買われ
て青年部の役員に選ばれた。

『工業組合は創立してやがて15年を迎える。
しかし、前半はあまり活動しなかったこともあ
って組合活動を理解できる組合員は少ないとい
える。これが悪循環となり、組合活動の低滞と
なったわけだが、近年の工業組合は見違えるば
かりの活動を展開している。活路開拓事業、支
部の設立、見本市開催、それに自動車ローンや

共同購入、あっ旋事業などと大型事業が相次い
でいるが、一層の組合事業の充実を図り、中小
企業の後ろだてとなってほしい』

服部さんは工組活動についての感想と共に『
青年部活動のあり方はいろいろ考えられるが、
大きな目標を立てて進むのではなく、じっくり
会員研修と相互の親睦を図ることが何より大切
である』と青年経営者に参加の精神を呼びかけ
ている。

小企業なりに小回り効かす

創業は昭和42年。家族ぐるみでやってきた
ビニール加工に見切りをつけ、5オンスのイン
ジェクションを買ったのが始まり。当初は下請



だったが、47年ごろ『下請けでは利益に伸び
がなく、経営に限界がある』と、思い切って下
請専業から自社ブランドの商品を生産するよう
になった。ヒット商品や大量受注品は社内の施
設では間に合わないので、4軒の外注工場に依
頼している。

最後に服部さんは『小企業は小企業なりに小
回りができ、将来に不安はない。こんども外注
工場とスクラム組んで厳しい環境を乗り切っ
ていきたい』と話していた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会を記念してミニ展示会を開催□

58年度の新事業計画や予算を決める『第15回通常総会』が、5月27日(金)午前11時から岐阜県工業技術センターで開きました。今年度の新事業計画には今年度から3年がかりで行う労務改善事業など大型事業が生まれ、その審議や役員改選が議題となりました。また、総会を記念して技術センターでミニ展示会を開き成果をおさめましたが、こんども機会あるごとに開催しますので参加して下さい。

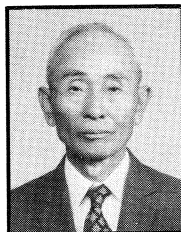
□工組の青年部に加入して下さい□

さる1月26日に工業組合青年部を設立しました。岐阜県下には約1千組合ありますが、工組の青年部は62番目に誕生したものです。青年部事業は、当面、親組合の事業分担をするほか、会員研修と相互の親睦を高めることが主な活動目標です。会員は現在14人です。会員増強にご協力下さい。

□共同購入の希望商品を聞かせて…□

工業組合では、会員企業で必要な商品や機器の一括購入やあっ旋をしております。新商品や新機器についてご希望を聞かせて下さい。

□監事の真鍋義雄さんが逝去□



故・真鍋さん

当工業組合の創立いらい役員として活躍いただいた真鍋義雄さん(岐阜市上川手498、厚見プラスチック工業代表)が、4月11日、逝去された。告別式は

4月13日自宅で行われ、工業組合からは大松理事長ら全理事が参列し、別れを惜しんだ。真鍋さんは工業組合が43年6月に創立されていらい理事として活躍、とくに今期は監事の重任を果たしてこられた。77歳。

□丸善産業の加藤善実さんも□

丸善産業(各務原市前渡西町1129の2)の加藤善彦さんの祖父・善実さんは4月17日逝去された。告別式は4月19日に行われ、工業組合からも役員が参列した。

岐阜県のプラスチック 1983 53号

昭和58年5月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4館)

電話 (0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

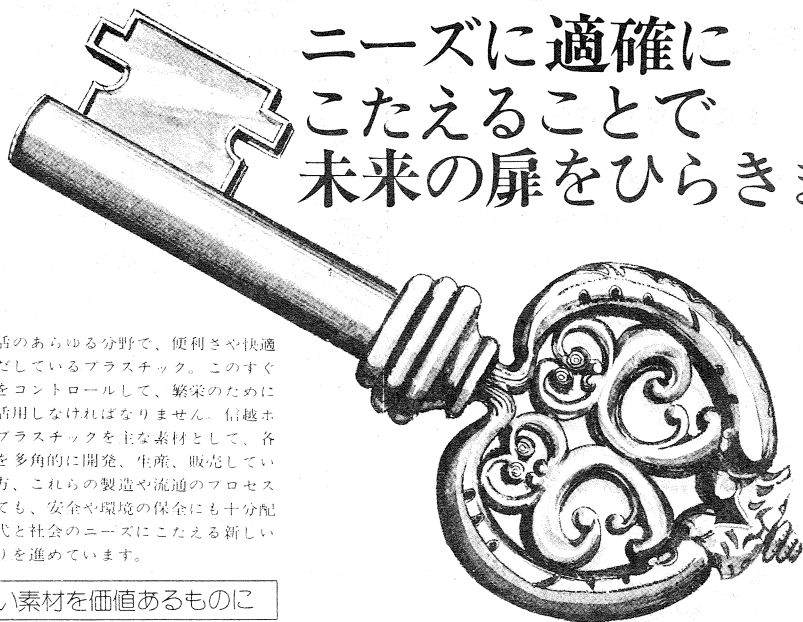
高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)



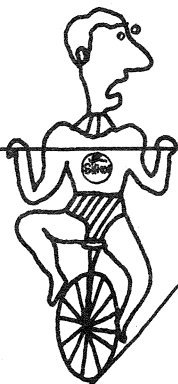
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

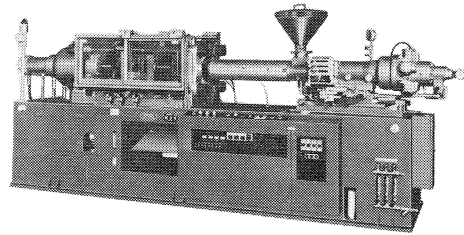


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 県 坂 城 町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出 張 所・全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ箇所)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎ (0582) 72-5952

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

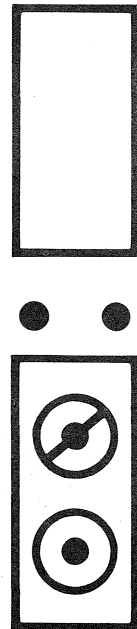
取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をフリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮